

# かきくらす

【掻き暗す】(動)サ四

- ① 空を暗くする
- ② 心を暗くする・悲しみにく



# いなぶ

【否ぶ・辞ぶ】(動)バ上二・バ四

断る・辞退する

💡「くらす」は「暗くする」

「かき」は接頭語、「くらす」は「暗くする」という意味の動詞である。雲が立ち込めたり、雨や雪が降ったりして、空や周囲を一面に暗くする意味(①)にも、心理的に気持ちが暗くなり、悲しみにくれる意味(②)にも用いる。

例文

- ① 時雨のさとかきくらせば、使ひも急ぐ。(紫)
- ② 圓時雨がさつと「降つて」空を暗くするので、使いの者も急ぐ。  
圓いっそう涙があふれそう、かきくらす心地したまふ。(源氏)

💡「否」を態度に表す

感動詞の「否」が動詞化した語であり、漢字では「否ぶ・辞ぶ」と書く。「否」は相手の言動を否定・拒絶する時に用いることから、「いなぶ」は「断る」という意味になった。現代語でも「イヤ、イヤ」と言われたら、断わられたということであろう。

類 101 すまふ